

# 田の神さあ



① **大牟礼の田の神像**  
旅僧型の田の神像。右手にスリコギ、左手にシャモジを持つ。19世紀初頭の作と考えられている。(吾平町上名)



② **南町牟田畑の田の神像**  
右手にシャモジ、左手にスリコギを持つ。嘉永2年(1849年)建立。地域では婚礼の縁起神ともされた。(南町)



③ **岡泉の田の神像**  
両手にクワを持ち、ワラツトを背負う。ワラツトとは、ワラを束ね、中へ物を包むようにしたもの。(野里町)



④ **野里の田の神像**  
のぞと  
右手にシャモジ、左手に鈴を持つ。「鈴持ち田の神舞型」の像としては県内最古。寛延4年(1751年)作。(野里町)



⑤ **中津神社の田の神像**  
なかつじんじや  
烏帽子をかぶる神官の格好をした「神職型」で、市内では珍しいタイプ。全身に化粧が施されている。(上高隈町)



⑥ **歌丸の田の神像**  
うたまる  
左手にスリコギを持ち、肩にかついている。右手の持ち物は不明。弘化4年(1847年)建立。(輝北町上百引)



⑦ **宮園の田の神像**  
みやその  
左手にスリコギを持ち、肩にかつぐ。右手の持ち物は欠損のため不明。左足を持ち上げた「田の神舞型」。(輝北町市成)



⑧ **中福良の田の神像**  
なかふくら  
右手にスリコギ、左手にシャモジを持ち、両肩に乗せている。目の彫りが深いのが特徴。(輝北町諏訪原)



⑬ **車田の田の神像**  
くるまだ  
右手にスリコギ、左手にシャモジを持ち、袖の長い上衣と袴をまとう。隣に山水を表現したと思われるものが添えられており、中には小仏がいる。修験道を連想させる像。(吾平町上名)



⑮ **八幡神社の田の神像**  
はちまんじんじや  
大きな袖の着物を着流し、長いひもの帯をたらしている。両手でクワを持ち、ワラツトをかっいでいる。(吾平町上名)



⑭ **真角の田の神像**  
ますみ  
旅僧型。右手にスリコギ、左手にシャモジを持つ。安永4年(1775年)作。石灯ろうや水神等と並ぶ。(吾平町下名)



⑬ **岡崎上の田の神像**  
おかざきうえ  
袖を長く垂らした僧衣をまとう旅僧型の田の神像。右手にスリコギ、左手にシャモジを持つ。200年以上前の作。(串良町岡崎)



⑫ **雨木池の田の神像**  
ほのきいけ  
右手にスリコギ、左手にシャモジを持ち、頭に薄いシキをかぶる。長衣をまとい、ひもを前で結んでいる。(串良町有里)



⑪ **中郷の田の神像**  
なかご郷  
右手にスリコギ、左手にシャモジを持つ。袖長の長衣をまとい、右ひざを立てている。天保5年(1834年)の刻銘有り。(串良町有里)



⑩ **田中屋敷の田の神像**  
たなかやしき  
傾いた頭にシキを浅くかぶり、右手にシャモジを持つ。容姿が滑稽、かつ妖艶な風情がある。(串良町細山田)



⑨ **下平房の田の神像**  
しもひらぼう  
右手にシャモジ、左手にスリコギを持つ。田植え前には住民によって化粧が施される。首をかじげ微笑む表情が特徴。(輝北町平房)



## 市内の代表的な「田の神像」